

県内における推進事業取組実施状況一覧表

取組名	事業実施主体名	計画策定時	事業実施後（目標年度）		目標（令和元年度）		事業費（円）	負担区分（円）				目標達成状況 B/A×100	事業主体等による評価結果	都県による点検評価結果 (所見)
		被災前 平成22年度	実績値	事業実績	目標値	具体的な事業内容（計画）		交付金	都県費	市町村費	その他			
生産資材の導入等	株式会社宮城リスタ大川	水稲：0ha	水稲：11.9ha	浸種用角深型水槽：4台 育苗箱：2,400箱 太陽シート：270cm×50m 7本 水稲育苗培土：10,000kg 水稲基肥：4,800kg 水稲追肥：840kg 水稲殺菌剤：2.5φ 水稲殺菌殺虫剤：120kg 水稲除草剤初期剤：120kg 水稲除草剤初中期一発剤：30.0kg	【平成30年度】 水稲：11.9ha	浸種用角深型水槽：4台 育苗箱：2,400箱 太陽シート270cm×50m：7本 水稲育苗培土：10,000kg 水稲基肥：4,800kg 水稲追肥：840kg 水稲殺菌剤：2.5φ 水稲殺菌殺虫剤：120kg 水稲除草剤初期剤：120kg 水稲除草剤初中期一発剤：30.0kg	3,057,900	1,415,000	224,000	0	1,418,900	水稲：100.0%	各方面の支援により目標どおりの水稲作付を実施できた。今後も、支援継続を支えに、ほ場整備による復旧面積の増分についても対応していきたい。	被災農地での営農再開にあたり、事業を活用して生産資材を導入し、早期に水稲の水稲作付を達成することができた。引き続き、関係機関と連携して、安定生産への支援を行っていく。
生産資材の導入等	農事組合法人おしか	水稲：0ha	水稲：6.6ha	水稲基肥：2,640kg 水稲追肥：460kg 水稲殺菌剤：1.4kg 水稲殺菌殺虫剤：66kg 水稲殺虫剤：7φ 水稲除草剤初中期一発剤：66kg ミラクロス200cm×50m：3本 ラプシート270cm×50m：3本 水稲育苗培土：6t	【平成30年度】 水稲：6.6ha	水稲基肥：2,640kg 水稲追肥：460kg 水稲殺菌剤：1.4kg 水稲殺菌殺虫剤：66kg 水稲殺虫剤：7φ 水稲除草剤初中期一発剤：66kg ミラクロス200cm×50m：3本 ラプシート270cm×50m：3本 水稲育苗培土：6t	1,050,651	486,000	0	0	564,651	水稲：100.0%	目標どおりの水稲作付を実施できた。計画では令和元年度にはほ場整備事業が完工することになっていたものの、若干の面積ではあるが、令和2年度にも営農再開面積について対応する予定。	被災農地での営農再開にあたり、事業を活用して生産資材を導入し、早期に水稲の水稲作付を達成することができた。引き続き、関係機関と連携して、安定生産への支援を行っていく。
生産資材の導入等	農事組合法人奥松島グリーンファーム	水稲：14.0ha 大豆：14.5ha キャベツ：0.3ha	水稲：14.0ha 大豆：14.5ha キャベツ：0.3ha	水稲 肥料、農薬一式、資機材（ラプシート2本、水稲用シルパーポリトウ3本、ブルーエースホース1本、パレット10枚、ウイングモア2台、スパイダーモア1台） 大豆 肥料、農薬一式、資機材（大豆用スタンドバッグ10枚、サブソイラ1台） キャベツ 種子、肥料、農薬一式、資機材（サンサンネットeレッド1枚、半自動移植機1台、トレイ2セット、鎮圧ローラー1台、播種板1台、中耕ディスク1台、グランドソワワー1台、グランドソワワー部品一式、動力噴霧機1台、松本式トラクター用鉄製ローラー1台）	水稲：14.0ha 大豆：14.5ha キャベツ：0.3ha	水稲 肥料（育苗用・本田用一式）、農薬（病虫害用・除草剤一式）、資機材（ラプシート2本、水稲用シルパーポリトウ3本、ブルーエースホース1本、パレット10枚、ウイングモア2台、スパイダーモア1台） 大豆 肥料（初期用・追肥用一式）、農薬（病虫害用・除草剤一式）、スタンドバッグ10枚、サブソイラ1台 キャベツ 種子、肥料、農薬、サンサンネットeレッド1枚、半自動移植機1台、トレイ2セット、鎮圧ローラー1台、播種板1台、中耕ディスク1台、グランドソワワー1台、松本式トラクター用鉄製ローラー1台	11,130,704	5,153,000	1,077,000	0	4,900,704	水稲：100.0% 大豆：100.0% キャベツ：100.0%	生産資材の導入により営農再開ができたことにより、生産体制の回復をすることができた。また、作付面積についても目標どおりの面積を作付することができた。今後も同地での作付を行い、安定した生産体制を維持していきたい。	（水稲・大豆） 被災農地での営農再開にあたり、事業を活用して生産資材を導入し、早期に水稲及び大豆の作付を再開し、計画通りの水稲及び大豆の作付面積を達成することができた。引き続き、関係機関と連携して、安定生産への支援を行っていく。 （キャベツ） 本事業で導入した機械及び生産資材を有効に活用したことにより、成果目標どおりの作付面積を達成することができた。今後もJAや市、農業改良普及センター等の関係機関と連携し、生産面だけでなく販売面も併せて支援を継続して行う。
生産資材の導入等	奥松島果樹生産組合いちじくの里	いちじく：0.7ha	いちじく：0.7ha	肥料、農薬一式	いちじく：0.7ha	肥料、農薬一式	67,147	31,000	0	0	36,147	いちじく：100.0%	生産資材の導入により営農再開ができたことにより、生産体制の回復をすることができた。また、作付面積についても目標どおりの面積を作付することができた。今後も同地での作付を行い、安定した生産体制を維持していきたい。	本事業で導入した生産資材を有効に活用したことにより、成果目標どおりの作付面積を達成することができた。今後もJAや市、農業改良普及センター等の関係機関と連携し、生産面だけでなく販売面も併せて支援を継続して行う。

県内における推進事業取組実施状況一覧表

取組名	事業実施主体名	計画策定時	事業実施後（目標年度）		目標（令和元年度）		事業費（円）	負担区分（円）				目標達成状況 B/A×100	事業主体等による評価結果	都県による点検評価結果 （所見）
		被災前 平成22年度	実績値	事業実績	目標値	具体的な事業内容（計画）		交付金	都県費	市町村費	その他			
放射性物質の吸収抑制対策	みやぎ亘理農業協同組合（亘理町）	放射性物質検査結果 【平成29年産】 水稲：不検出 大豆：不検出 【平成28年産】 水稲：不検出 大豆：不検出 【平成27年産】 水稲：不検出 大豆：検出3点 （最大値：19.17Bq/kg） そば：不検出 【平成26年産】 水稲：不検出 大豆：不検出 そば：不検出 【平成25年産】 水稲：不検出 大豆：検出5点 （最大値：20Bq/kg） そば：検出1点 （4.9Bq/kg） 【平成24年産】 水稲：検出2点 （最大値：3.3Bq/kg） 大豆：検出7点 （最大値：12Bq/kg） そば：検出4点 （最大値：16Bq/kg）	平成30年産放射性物質検査結果 水稲：不検出 大豆：不検出	放射性物質の吸収を抑制する資材の導入 塩化加里の施用 水稲（平成30年産） 投入量：20kg/10a 投入面積：44.4ha 総投入量：8,880kg 事業費：635,364円 資材の導入効果の検証 検証ほ場の設置 水稲（平成30年産） 検証ほ場：各年産3カ所 比較対象ほ場3カ所 事業費：116,640円	平成30年産放射性物質検査結果 水稲：基準値超過なし 大豆：基準値超過なし	放射性物質の吸収を抑制する資材の導入 塩化加里の施用 水稲 投入量：20kg/10a 投入面積：44.4ha 総投入量：8,880kg 事業費：635,364円 資材の導入効果の検証 検証ほ場の設置 水稲 検証ほ場：各年産3カ所 比較対象ほ場3カ所 事業費：116,640円	752,004	696,000	0	0	56,004	100.00%	塩化加里の施用及び水稲の作付けが計画どおり実施され、生産性の回復につながった。 また、放射性物質の吸収が抑制され基準値を超過した放射性物質は検出されなかった。	放射性物質は検出されず、目標を達成しており、吸収抑制効果が確認されたと考えられる。今後も地域での放射性物質のモニタリング等を引き続き行い、適切な農地管理を支援する。
放射性物質の吸収抑制対策	みやぎ亘理農業協同組合（山元町）	放射性物質検査結果 【平成29年産】 大豆：検出3点 （最大値：14Bq/kg） 【平成28年産】 大豆：検出1点 （最大値：21Bq/kg） 【平成27年産】 大豆：不検出 【平成26年産】 大豆：検出1点 （5.3Bq/kg）	平成30年産放射性物質検査結果 大豆：不検出	放射性物質の吸収を抑制する資材（塩化カリウム）の施用 投入量：20kg/10a 投入面積：73ha 総投入量：14,600kg 事業費：1,044,630円	平成30年産放射性物質検査結果 大豆：基準値超過なし	放射性物質の吸収を抑制する資材（塩化カリウム）の施用 投入量：20kg/10a 投入面積：73ha 総投入量：14,600kg 事業費：1,044,630円	1,044,630	967,000	0	0	77,630	100%	大豆における放射性物質検査において基準値超過無しの判定となり、目的は達成された。	放射性物質は検出されず、目標を達成しており、吸収抑制効果が確認されたと考えられる。今後も地域での放射性物質のモニタリング等を引き続き行い、適切な農地管理を支援する。

県内における推進事業取組実施状況一覧表

取組名	事業実施主体名	計画策定時	事業実施後（目標年度）		目標（令和元年度）		事業費（円）	負担区分（円）				目標達成状況 B/A×100	事業主体等による評価結果	都県による点検評価結果 (所見)
		被災前 平成22年度	実績値	事業実績	目標値	具体的な事業内容（計画）		交付金	都県費	市町村費	その他			
放射性物質の吸収抑制対策	新みやぎ農業協同組合	放射性物質検査結果 【平成29年産】 大豆：不検出 そば：検出1点 （最大値11Bq/kg） 【平成28年産】 水稲：不検出 大豆：検出5点 （最大値12Bq/kg） そば：検出1点 （最大値12Bq/kg） 【平成27年産】 水稲：不検出 大豆：検出4点 （最大値15Bq/kg） そば：検出4点 （最大値14Bq/kg） 【平成26年産】 水稲：検出3点 （最大値11Bq/kg） 大豆：検出9点 （最大値11Bq/kg） そば：検出6点 （最大値76Bq/kg） 【平成25年産】 水稲：検出2点 （最大値49Bq/kg） 大豆：検出32点 （最大値24Bq/kg） そば：検出7点 （最大値76Bq/kg）	平成30年産放射性物質検査結果 大豆：不検出 そば：検出2点 （最大値：9.1Bq/kg）	放射性物質の吸収を抑制する資材・塩化カリの施用 大豆 投入量：40kg/10a 投入面積：884ha 総投入量：359,400kg 事業費：25,423,956円 そば 投入量：40kg/10a 投入面積：18ha 総投入量：7,620kg 事業費：539,039円 資材の導入効果の検証・検証ほ場の設置 大豆検証ほ場：30a（10a×3カ所） ほ場借上費：30,000円（非課税） 検出時の試料買上処分費：0円 放射性物質分析費：71,280円 事業費：101,280円	平成30年産放射性物質検査結果 大豆：基準値超過なし そば：基準値超過なし	放射性物質の吸収を抑制する資材・塩化カリの施用 大豆 投入量：40kg/10a 投入面積：884ha 総投入量：359,400kg 事業費：25,427,550円 そば 投入量：40kg/10a 投入面積：18ha 総投入量：7,620kg 事業費：539,115円 資材の導入効果の検証・検証ほ場の設置 大豆検証ほ場：30a（10a×3カ所） ほ場借上費：30,000円（非課税） 検出時の試料買上処分費：0円 放射性物質分析費：71,280円 事業費：101,280円	26,064,275	24,135,000	0	1,929,275	100.0%	平成30年産については、大豆は不検出。そばにおいて市内の一部で基準値以下の放射性物質の検出が認められたことから、今後も放射性物質の検出が懸念される地域での吸収抑制対策を支援する必要がある。	目標は達成されたが、そばにおいて市内の一部で基準値以下の放射性物質の検出が認められたことから、今後も放射性物質の検出が懸念される地域での吸収抑制対策を支援する必要がある。	
放射性物質の吸収抑制対策	加美よつば農業協同組合	【平成28年産】 大豆：検出6点 （最大値：14Bq/kg） 【平成29年産】 大豆：検出2点 （最大値：8.3Bq/kg）	平成30年産放射性物質検査結果 大豆：検出1点（5.7Bq/kg）	放射性物質の吸収を抑制する資材の導入 大豆 塩化加里：20kg/10a 投入面積：195.33ha 総投入量：52,080kg 投入数量：2,604袋 事業費：3,726,324円 塩化加里：40kg/10a 投入面積：135.62ha 総投入量：47,200kg 投入数量：2,360袋 事業費：3,377,160円 パームアッシュ：80kg/10a 投入面積：2.60ha 総投入量：2,080kg 投入数量：104袋 事業費：228,684円	平成30年産放射性物質検査結果 大豆：基準値超過なし	放射性物質の吸収を抑制する資材の導入 大豆 塩化加里：20kg/10a 投入面積：165.5ha 総投入量：33,140kg 投入数量：1,657袋 事業費：2,371,167円 塩化加里：40kg/10a 投入面積：165.4ha 総投入量：66,140kg 投入数量：3,307袋 事業費：4,732,317円 パームアッシュ：80kg/10a 投入面積：2.60ha 総投入量：2,080kg 投入数量：104袋 事業費：228,684円	7,332,168	6,789,000	0	0	543,168	100.0%	塩化カリ・パームアッシュを散布したことにより、平成30年産大豆の放射性物質検査の値はすべて基準値以下の数値となったことから、目標は達成できた。産地の信頼も高まり、生産体制を構築する兆しが見えてきた。	目標は達成されたが、町内の一部で基準値以下の放射性物質の検出が認められたことから、今後も放射性物質の検出が懸念される地域での吸収抑制対策を支援する必要がある。
家畜改良体制再構築支援	全国農業協同組合連合会宮城県本部	高能力種畜の受精卵（乳）導入農家における飼養頭数 【平成23年3月】 経産牛：67頭 搾乳牛：56頭 【平成23年4月】 経産牛：66頭 搾乳牛：49頭 宮城県における肉用子取り用雌牛飼養頭数 【平成23年2月】29,400頭 【平成28年2月】26,100頭	高能力種畜の受精卵（乳）導入農家における飼養頭数 【令和2年3月】 経産牛：231頭 搾乳牛：223頭 宮城県における肉用子取り用雌牛飼養頭数 【令和2年2月】26,500頭	高能力種畜の受精卵導入 性判別受精卵（乳）：6個 経産牛：99頭 高能力受精卵（肉）：38個 搾乳牛：74頭	高能力種畜の受精卵（乳）導入農家における飼養頭数 経産牛：99頭 搾乳牛：74頭	高能力種畜の受精卵導入 性判別受精卵（乳）：6個 高能力受精卵（肉）：38個 搾乳牛：74頭	2,967,000	1,453,000	0	1,514,000	211.4%	※参考※ 経産牛：233.3% 搾乳牛：301.3% 宮城県における肉用子取り用雌牛飼養頭数：99.6%	事業計画に対し実績は規模拡大もあり、大幅に達成された。しかしながら、県内酪農家の高齢化や後継者不足、疾病による体調不良、飼料価格の高騰等により離農者数が増加し続け、県全体の飼養頭数は減少している。今後は規模拡大農家に對し牛群検定で1頭ごとの成績を掌握し、優秀な乳用牛を選抜するとともに、牛群改良へ資する有効性をPRすることで県全体の生乳出荷増を目指したい。	目標を大きく上回る達成率となり、今後も受精卵を活用した経営発展及び受精卵の地域への普及が期待される。

県内における推進事業取組実施状況一覧表

取組名	事業実施主体名	計画策定時	事業実施後（目標年度）		目標（令和元年度）		事業費（円）	負担区分（円）				目標達成状況 B/A×100	事業主体等による評価結果	都県による点検評価結果 （所見）
		被災前 平成22年度	実績値	事業実績	目標値	具体的な事業内容（計画）		交付金	都県費	市町村費	その他			
農地生産性回復に向けた取組	仙台農業協同組合	【平成29年度】 生育不良の農地の収穫量： 6.5俵/10a	水稲収穫量：7.55俵/10a	農地生産性回復に向けた取組 堆肥の施用 施用水田面積：61.4ha 堆肥の施用量：618t（10t/ha） 散布委託：61.4ha ※運搬経費含む	生育不良の農地の収穫量： 概ね7.5俵/10a	農地生産性回復に向けた取組 堆肥の施用 施用水田面積：62ha 堆肥の施用量：620t（堆肥運搬、散布、計測経費含む）	5,337,360	4,942,000	0	0	395,360	125.8%	堆肥散布エリアにおける耕作者ごとの平均収量は6.5俵～8俵であった。堆肥散布エリア全体の平均収量に換算すると、10aあたり約7.55俵となり、目標値まで収量が増加した。堆肥の施用により、生産性の回復を図ることができた。	堆肥の施用により土壌環境が改善され、成果目標を達成した。今後とも関係機関と連携し、安定して収量が確保されるよう支援を行っていく。
農地生産性回復に向けた取組	株式会社やまもつファームみらい野	【平成27年度】 土壌分析値：CEC2.8	土壌分析値：CEC4.8	堆肥：320t 取組面積：6.4ha	土壌分析値：CEC3.0	生産性の回復を図るための、堆肥、ゼオライトの施用 投入量：堆肥5t/10a ゼオライト 施用無し 投入面積：6.4ha 総投入量：堆肥320t ゼオライト 事業費：302,400円 （堆肥運搬経費込み）	302,400	280,000	0	0	22,400	160.0%	堆肥を投入した結果、目標を達成することができた。今後とも目標値の維持継続に努める。	堆肥の施用により土壌環境が改善され、成果目標を達成した。今後とも関係機関と連携し、農地の生産性維持に向け支援を行っていく。
農地生産性回復に向けた取組	気仙沼市	【平成29年度】 水稲収量：245kg/10a ※客土土壌でたい肥施用なしの農地で栽培した収量 ねぎ収量：2t/10a （前年大谷圃場で収穫した収量）	水稲収量：466kg/10a ねぎ収量：2.5t/10a	取組面積 田：1.9ha 畑：12.6ha 堆肥・土づくり資材の施用 施用面積：14.5ha 堆肥 1.5t/10a 土づくり資材 田：125kg/10a 畑：100kg/10a 散布作業等の委託 散布作業面積：42.5ha（延べ面積） 耕起作業：14.5ha	水稲収量 ：おおむね483kg/10a ※気仙沼市の平均収量（H23～H29年の単収で最低と最高を除いた5カ年の平均値） ねぎ収量：3t/10a （一般的な目標収量）	取組面積 田：1.9ha 畑：12.6ha 堆肥・土づくり資材の施用 施用面積：14.5ha 堆肥：15t/ha 土づくり資材 田：1,250kg/ha 畑：1,000kg/ha 散布作業等の委託 散布作業面積：42.5ha（延べ面積） 耕起作業：14.5ha	7,324,560	7,324,000	0	560	0	水稲：120.6% ねぎ：83.3% 平均：102.0%	水稲は、収量466kg/10aとなり目標を達成することができた。今後も、収量の維持継続に営農組織が中心となって取り組んでいく。ネギは、降雨によるほ場条件の悪化のため雑草対策が必要な時期に十分に実施できなかったことから雑草が繁殖し、生育不足や収穫作業の効率低下などもあり、収量は目標に対して83%に留まった。次年度から雑草対策を適切に実施して目標収量の達成を目指す。	堆肥や土づくり資材を施用することで土壌環境は改善されつつあり、事業実施前に比べ収量は増加し、水稲では成果目標を達成した。ネギについては降雨の影響により管理作業が遅れ、目標収量を下回ったが、平均では目標を達成した。今後も県農業改良普及センターによる技術的支援等関係機関と連携し稲作情報やねぎの栽培マニュアル等に基づいた情報提供や現地指導会などの技術的支援により復旧農地での安定生産に向けた支援を行っていく。
農地生産性回復に向けた取組	南三陸町	【平成29年度】 水稲収量：245kg/10a ※客土土壌でたい肥施用なしの農地で栽培した収量 ねぎ収量：1.7t/10a （南三陸町内ほ場整備地区2haにおいて堆肥散布前に栽培した平均収量）	水稲収量：422kg/10a ねぎ収量：2.5t/10a	被災農地の土地づくり対策 対象水田：1.83ha 堆肥：3t/10a 土改剤：125kg/10a 対象畑1.14ha 堆肥4t/10a 散布作業面積：2.97ha エニツク借上げ代：9日、1.83ha 運搬トラレーラ借上げ代：6回、2.97ha	水稲収量 ：おおむね485kg/10a ※南三陸町の平均収量（H23～H29年の単収で最低と最高を除いた5カ年の平均値） ねぎ収量：おおむね3t/10a （一般的な目標収量）	被災農地の土地づくり対策 対象水田1.83ha 堆肥：3t/10a 土改剤：125kg/10a 対象畑1.14ha 堆肥4t/10a 散布作業面積：2.97ha エニツク借上げ代：9日、1.83ha 運搬トラレーラ借上げ代：6回、2.97ha	2,329,145	2,329,000	0	145	0	水稲：108.8% ねぎ：104.2% 平均：106.5%	土づくり対策を行った結果、水稲、ねぎともに目標収量を達成することができた。引き続き収量向上に努めていく。	水稲、ねぎとも成果目標を達成することができた。今後も県農業改良普及センターによる技術的支援等関係機関と連携し稲作情報やねぎの栽培マニュアル等に基づいた情報提供や現地指導会などの技術的支援により復旧農地での安定生産に向けた支援を行っていく。
-	-	-	-	-	-	-	68,759,944	56,000,000	1,301,000	1,929,980	9,528,964	-	-	-